



## 平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年12月18日

上場会社名 株式会社サンワドー 上場取引所 東  
 コード番号 7430 URL http://www.sanwado.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 勝弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長新業態開発担当 (氏名) 中村 勝憲 TEL 017-782-3200  
 兼 管理担当  
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月26日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績（平成26年2月21日～平成26年11月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	23,231	△1.3	292	△35.4	352	△29.0	221	△20.4
26年2月期第3四半期	23,529	0.8	452	△35.0	496	△31.2	277	△28.8

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 322百万円 (△21.0%) 26年2月期第3四半期 408百万円 (13.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	41.88	—
26年2月期第3四半期	52.62	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第3四半期	18,485	6,017	32.6	1,139.80
26年2月期	17,899	5,757	32.2	1,090.62

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 6,017百万円 26年2月期 5,757百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年2月21日～平成27年2月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	1.2	650	0.5	750	6.9	400	△19.0	75.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期3Q	5,280,000株	26年2月期	5,280,000株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	528株	26年2月期	528株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期3Q	5,279,472株	26年2月期3Q	5,279,472株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年2月21日～平成26年11月20日）における我が国経済は、政府及び日銀による各種経済・金融政策の推進によって円安・株高傾向が続き、輸出企業を中心に緩やかな回復基調で推移しました。その反面、消費税率の引き上げに伴う個人消費の低迷が長引いている事に加え、急激な円安による輸入原材料の上昇やそれに伴う物価の上昇が懸念されるなど、依然として国内経済の下振れリスクが存在し、景気先行きの不透明感は拭えない状況にあります。

このような環境の中、当社グループの営業面では、第1四半期においては消費税率引き上げに伴う駆け込み需要対策として新生活関連商品、季節商品（自転車、園芸用品等）の早期展開、高需要商品の在庫確保、商品の山積展開や組み合わせ販売により売上向上に努めました。この結果、家電やブランド品等の高額商品が好調だったほか、生活必需品、消耗品等がまとめ買いにより売上を伸ばしました。第2四半期以降においては、増税後の価格訴求や各メーカーとのタイアップキャンペーンを積極的に行い、売場の活性化を図りました。また、資材館強化策として、地域密着型の商品と定番の見直しを進めてまいりました。さらには、スーパーバイザーを活用し、お客さまに分かりやすく季節に合った売場作りや、お客さまの声を売場へフィードバックする等、更なる利便性向上に努めました。しかしながら、各種施策において一定の効果がみられるものの、増税後の反動減が想定以上に大きく、かつ長引いており、第1四半期では好調に売上を伸ばしていた家電、ブランド品等の高額商品に加え、夏タイヤ、カーナビ等が大きく売上を落としました。また、夏場においては天候不順の影響を受け、冷房用品、塗料、用土、肥料、殺虫剤、レジャー用品等の夏季商品も売上を落としました。第3四半期に入って、降雪や気温低下の遅れから暖房用品、除雪機、除雪用品、スタッドレスタイヤ等の冬季商品が苦戦し売上を落としました。一方で、従前より強化してきた食品部門が好調に推移している中で北海道地区に展開した業務スーパーの認知度が上がり売上を伸ばしたものの、全体の売上をカバーするまでには至りませんでした。経費面においては冷凍・冷蔵施設の増設により水道光熱費、減価償却費が増加したほか、食品部門の人員増加により人件費が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は23,231百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は292百万円（前年同期比35.4%減）、経常利益は352百万円（前年同期比29.0%減）、四半期純利益は221百万円（前年同期比20.4%減）となり減収減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ586百万円増加し、18,485百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ769百万円増加し、6,132百万円となりました。主に、商品及び製品が季節商品品揃え等により323百万円、現金及び預金が205百万円、及び受取手形及び売掛金が200百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ183百万円減少し、12,352百万円となりました。主に、減価償却等により有形固定資産が137百万円減少し、投資有価証券が時価評価等により増加しましたが、敷金及び保証金が回収により減少したこと等で、投資その他の資産が45百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ326百万円増加し、12,467百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ337百万円増加し、7,105百万円となりました。主に、短期借入金・1年内返済予定の長期借入金及び1年内償還予定の社債が約定返済等により合計で362百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が仕入高増等により683百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ11百万円減少し、5,361百万円となりました。主に、長期借入金が381百万円増加しましたが、社債が360百万円、固定負債のその他の内リース債務が36百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ259百万円増加し、6,017百万円となりました。利益剰余金が157百万円、その他有価証券評価差額金が101百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は32.6%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年9月17日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	415,939	621,629
受取手形及び売掛金	361,969	562,380
有価証券	101,654	101,505
商品及び製品	4,254,935	4,578,100
繰延税金資産	87,258	89,421
その他	141,228	179,414
貸倒引当金	△48	△74
流動資産合計	5,362,937	6,132,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,164,966	2,052,784
土地	5,488,963	5,492,901
その他（純額）	560,465	531,699
有形固定資産合計	8,214,396	8,077,385
無形固定資産	17,488	16,949
投資その他の資産		
投資有価証券	1,332,046	1,589,212
繰延税金資産	142,802	96,513
敷金及び保証金	2,351,130	2,208,769
その他	486,403	371,771
貸倒引当金	△8,033	△7,788
投資その他の資産合計	4,304,348	4,258,479
固定資産合計	12,536,233	12,352,813
資産合計	17,899,171	18,485,190
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,837,834	3,521,339
短期借入金	600,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	1,870,132	1,767,382
1年内償還予定の社債	470,000	360,000
未払法人税等	98,380	24,558
賞与引当金	42,540	68,500
役員賞与引当金	14,690	12,372
ポイント引当金	91,187	99,779
その他	743,565	801,834
流動負債合計	6,768,330	7,105,766
固定負債		
社債	460,000	100,000
長期借入金	3,823,369	4,204,719
退職給付引当金	283,421	291,680
役員退職慰労引当金	69,080	62,130
資産除去債務	236,843	240,497
その他	500,205	462,839
固定負債合計	5,372,919	5,361,866
負債合計	12,141,249	12,467,633

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	704,025	704,025
資本剰余金	747,805	747,805
利益剰余金	4,079,071	4,236,817
自己株式	△261	△261
株主資本合計	5,530,639	5,688,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	227,282	329,171
その他の包括利益累計額合計	227,282	329,171
純資産合計	5,757,921	6,017,557
負債純資産合計	17,899,171	18,485,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年11月20日)
売上高	23,529,581	23,231,126
売上原価	18,657,650	18,443,704
売上総利益	4,871,930	4,787,422
販売費及び一般管理費	4,419,111	4,495,012
営業利益	452,819	292,409
営業外収益		
受取利息	4,110	9,670
受取配当金	13,223	15,887
不動産賃貸料	27,274	15,473
発注システム使用料	25,326	22,581
その他	36,047	52,356
営業外収益合計	105,983	115,970
営業外費用		
支払利息	52,647	47,415
支払保証料	3,166	1,665
その他	6,197	6,641
営業外費用合計	62,011	55,722
経常利益	496,790	352,656
特別利益		
固定資産売却益	823	16
投資有価証券売却益	—	33,149
特別利益合計	823	33,166
特別損失		
固定資産売却損	65	18
固定資産除却損	3,599	217
特別損失合計	3,665	236
税金等調整前四半期純利益	493,948	385,586
法人税、住民税及び事業税	212,232	170,291
法人税等調整額	3,914	△5,804
法人税等合計	216,146	164,486
少数株主損益調整前四半期純利益	277,802	221,099
四半期純利益	277,802	221,099



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	277,802	221,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	131,130	101,889
その他の包括利益合計	131,130	101,889
四半期包括利益	408,932	322,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	408,932	322,989
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。